


ビジネスコミュニケーション学部 ビジネスコミュニケーション学科
教授 中山 健 NAKAYAMA Takeshi
専門・活動分野 経営学、商学
最新の研究内容
テーマ：中小企業の経営戦略、中小企業政策
研究/活動紹介
① 中小企業の現状分析と対応施策の検討

中小企業の現状は厳しい状況にあります。最低賃金の上昇が普及する中、円安、物価上昇などで更なる上昇圧力に晒される状況下において適切な賃金上げが困難な中小企業が急増しています。これらの問題をどうすれば解決できるのか、そして稼げる企業へと変化するために必要な戦略的手法は何か。脱下請なども含めた新たな方向性とそれを支援するための施策の在り方についても考える必要があります。これら以外にも人材獲得と人手不足対策、後継者の確保、M&Aへの取り組み、金融機関の支援策、企業間連携、大企業との連携方策、新製品開発などを中小企業へのインタビュー調査なども行いながら進めています。

② 共有価値創造と企業成長

企業が社会的課題を新たな開発テーマにする例が増えてきています。社会的課題とは地球温暖化などの環境問題、震災・防災、省エネ、省資源、少子高齢化対策、人手不足の解消、海外経営の困難性、サプライチェーン対策、DX・IT化、介護における重労働といった問題から貧困問題、規模間格差、正規・非正規労働問題、6次産業化などのことです。近年の動きとして、中小企業から大企業まで、多くの企業がそうした領域を新たなフロンティアとして新規開拓を始めています。企業が社会的価値（諸課題解決への取り組み）と経済的価値（売上・利益）の両方を同時達成することにより、これまでのコストや税金での解決といった視点から、課題のビジネス化という利益視点への転換が重要であるという意味です。こうした認識は社会的な醸成が進んできた結果、それをさらに推し進める経営理念と戦略の必要性が意識され、理論面での反対論もある中で実践的な企業の取り組みが消費者から評価されています。事例収集と影響要因を分析中です。

< 地方都市の産業振興ビジョン策定に参画 >



< 最近出版した図書（分担執筆） >


産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- ・ 経済産業省、国土交通省、JICA、NISTEP、中小企業基盤整備機構、学位授与機構、東京都庁、千葉県庁、川崎市、横浜市、富里市、全国信用金庫協会、全国建設業協会、他多数の審議会・委員会等の委員長、委員、ナレッジアソシエイト、アドバイザー等を歴任しました。
- ・ 国、自治体、業界団体、シンクタンク、企業等の様々な分野においてアドバイザー、委員、相談役等を担当してきました。
- ・ 国公立大学の学位論文、昇進時の外部審査員を担当してきました。

学会・経歴

- ・ 日本経営学会、日本中小企業学会
- ・ 最終学歴：東京大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得満期退学
- ・ 横浜市立大学教授、共立女子大学教授、新潟食料農業大学教授を経て、本学ビジネスコミュニケーション学部長、教授

< お問い合わせ窓口 >

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp